

事務事業名		中小企業対策事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																										
	施策名	0 4 地域経済を支える地場企業の振興		区分																										
	基本事業名	0 1 地場企業の育成・経営支援		単年度繰返																										
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																										
所属	部課名	商工港湾部商工課		【開始年度】																										
	課長名	鈴木 宏延		平成28 年度～																										
	係名	商工係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	笹崎 大岳	内線	109																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分																										
<p>市内地場企業の振興及び経営の安定を図るため、次の補助金交付事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船渡商工会議所が実施する中小企業相談所事業に要する経費に対し、補助金を交付する。具体的な業務は以下のとおり。</li> <li>ア. 申請受付、イ. 審査、交付決定、ウ. 事業遂行確認、エ. 補助金請求受付、オ. 審査、補助金交付</li> </ul> <p>事業費は、岩手県の商工業小規模事業経営支援事業費補助金交付要綱に基づき実施する中小企業相談所事業に対する補助金として支出される。</p> <p>※小規模事業経営支援事業に基づく事業内訳 指導事業、資質向上対策事業、指導環境推進事業、若手後継者等育成事業、経営安定特別相談事業、商工団体合併等支援事業</p>				D 補助金等																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
<p>市内地場企業の振興及び経営の安定を図るため、次の補助金交付事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船渡商工会議所が実施する中小企業相談所事業に要する経費に対し、補助金を交付する。具体的な業務は以下のとおり。</li> <li>ア. 申請受付、イ. 審査、交付決定、ウ. 事業遂行確認、エ. 補助金請求受付、オ. 審査、補助金交付</li> </ul> <p>事業費は、岩手県の商工業小規模事業経営支援事業費補助金交付要綱に基づき実施する中小企業相談所事業に対する補助金として支出される。</p> <p>※小規模事業経営支援事業に基づく事業内訳 指導事業、資質向上対策事業、指導環境推進事業、若手後継者等育成事業、経営安定特別相談事業、商工団体合併等支援事業</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計 (A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
延べ業務時間																														
人件費計 (B)	0																													
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>大船渡商工会議所が実施する中小企業相談所事業に対し補助金を交付。 ※商工しおさい発行業務については、市が発行主体としての発行は令和5年度から実施しないこととした。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>前年度と同じ。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 広報誌「商工しおさい」配布回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 補助金交付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 広報誌「商工しおさい」配布回数	回	イ 補助金交付件数	件	ウ	
名称	単位								
ア 広報誌「商工しおさい」配布回数	回								
イ 補助金交付件数	件								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<p>市民及び市内事業所</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市内事業所数(経済センサスより)</td> <td>事業所</td> </tr> <tr> <td>キ 世帯数(当該年度末人口)</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市内事業所数(経済センサスより)	事業所	キ 世帯数(当該年度末人口)	世帯	ク	
名称	単位								
カ 市内事業所数(経済センサスより)	事業所								
キ 世帯数(当該年度末人口)	世帯								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<p>市内事業所への経営支援や各種情報の提供を通じて、市内事業所の経営安定化を図る。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ しおさい発行部数</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>シ 補助対象事業数</td> <td>事業</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ しおさい発行部数	部	シ 補助対象事業数	事業	ス	
名称	単位								
サ しおさい発行部数	部								
シ 補助対象事業数	事業								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<p>・市内地場企業の振興及び経営の安定が図られ、地域経済の発展につながる。</p>									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	14,000	14,000	14,000	12,500	12,500	12,500	
	事業費計 (A)		千円	14,000	14,000	14,000	12,500	12,500	12,500	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	6	6	6	
		人件費計 (B)	千円	40	40	40	24	24	24	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	14,040	14,040	14,040	12,524	12,524	12,524
⑤活動指標		ア	回	6	6	6	-	-	-	
		イ	件	1	1	1	1	1	1	
		ウ								
⑥対象指標		カ	事業所	2,471	2,151	2,151	2,151	2,151	2,151	
		キ	世帯	14,862	14,777	14,745	14,719	14,719	14,719	
		ク								
⑦成果指標		サ	部	87,525	88,200	87,479	-	-	-	
		シ	事業	3	4	4	4	6	6	
		ス								

事務事業ID	0408	事務事業名	中小企業対策事業
--------	------	-------	----------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成27年度まで実施していた「中小企業特別対策事業」と「大船渡商工会議所運営支援事業」の内容を精査、統廃合し、平成28年度より当該事業を開始した。  
 「中小企業特別対策事業」については、昭和50年度に、市内中小企業の経営及び雇用の安定を図ることを目的として、市における特別対策を総合的かつ効果的に推進するため、大船渡市中小企業特別対策室及びその分室を設置し、事業を開始したもの。  
 「大船渡商工会議所運営支援事業」は、商工会議所の運営を支援し指導力を強化することにより、市内の産業振興及び経済の活性化への実効性を高めるため開始されたもの。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 東日本大震災からの復興が概ね完了を迎えるに当たり、復興需要が収束していることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し経営がひっ迫している事業者が増加しており、大船渡商工会議所との連携を一層密にし、的確な施策を展開することが重要となっている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 大船渡商工会議所から、地域経済を支える市内事業者を支援し、商業地域の活性化を図るため、より実行性の高い事業の展開が不可欠であることから、さらなる連携、支援が求められている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>▽ 理由・内容</b> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかずか？意図することが結果に結びついているか？ 経営指導等を行う中小企業相談所事業への支援等、地場企業の振興につながる支援事業であり、政策体系に結び付いている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>▽ 理由・内容</b> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市内の経済動向を市民に周知する取組みであるため、市が行うべき事業である。また、市内の地場企業の振興につながる事業への支援であることから、市も積極的に関わるべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <b>▽ 理由・内容</b> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民及び市内事業者を対象とした事業であることから対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 既存事業を統廃合した事業であるため、今後も事業内容を精査し、実効性の高い事業展開を行う必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>▽ 理由・内容</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市内の経済動向を周知する方法を失う。また、大船渡商工会議所の事業縮小に繋がることから廃止・休止した場合の影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 中小企業相談所事業について、経営支援や各種情報の提供を行う商工会議所の事業は、市内事業所の経営安定化を図る上で不可欠である。事業費の削減は、商工会議所の活動の縮小につながり、中小企業への経営支援が行き届かなくなる恐れがあることから削減の余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 担当人数は最低限であり、人件費削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>▽ 理由・内容</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 補助金に関しては事業に対する受益者負担があることから適正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持  ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	現状どおり継続して事業を実施する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	大船渡市商工会議所が実施する中小企業相談所事業により、多くの中小企業の経営支援を行っており、市内中小企業の振興を図るためにも、引き続き、当該事業を実施する必要がある。